

2018・2019年度の予備力・調整力 及び潮流抑制のためのマージン (年間計画：2018年10月～2020年3月)

2018年8月29日

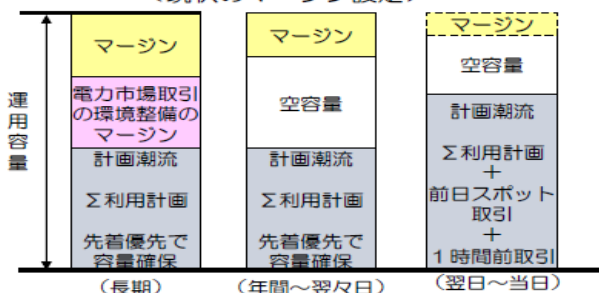
- ◆ 間接オークション導入が2018年10月1日からとなったことを踏まえ、10月以降分のマージンについて間接オークション導入後に適用される送配電等業務指針に基づき設定する。
- ◆ 変更後の送配電等業務指針では、実需給断面におけるマージンが必要な場合を除き、原則としてマージンの値をゼロとする。
- ◆ 実需給断面において、マージンを設定する蓋然性があるものの、計画段階では値を確定することが困難な連系線については、実需給断面において設定する蓋然性のある値の範囲で設定する。なお、系統情報サービス上は蓋然性のある値の範囲の最小値を表示し、注記を付す等して対応する。
- ◆ なお、新旧比較の形で記載の変更前の値は、実需給断面においてエリアの予備力不足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値となる。
- ◆ また、北海道本州間連系設備増強後のマージンについても、調整力及び需給バランス評価等に関する委員会での整理内容を反映する。

主な業務規程・送配電等業務指針変更点：マージンの設定断面について（変更）

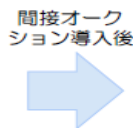
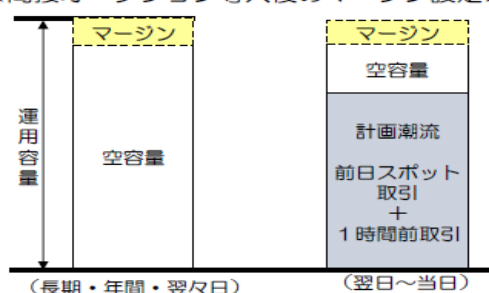
17

- 現行ルールでは、「先着優先」で長期断面から利用計画により容量登録されるため、長期～実需給断面においてマージンを設定している。
- 連系線利用ルールが「間接オークション」に変更され前日スポット取引以降に容量登録されるため、**翌々日断面において実需給断面を考慮したマージンが設定されていけばよい。**
- 他方、供給計画を基にした需給バランス評価など予見性の観点から、長期・年間断面においてもマージンを設定しておくことが必要である。
- 上記より、マージン設定の断面は「**長期・年間・翌々日**」とし、現行ルールで実施していた**マージン減少は不要なため削除**する。【規程第128条、第129条】（変更）

〈現状のマージン設定〉



〈間接オークション導入後のマージン設定〉



※ 年間・月間・翌々日の断面で実需給断面に向けマージンを減少
 ※ 実需給断面において必要な場合のみマージンを設定

※ 実需給断面において必要な場合のみマージンを設定

業務規程・送配電等業務指針(変更)の検討について
 出典: 広域機関HP 策定・変更に関するお知らせ 2017年度

1. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2018年度下期）平日

<変更前>

(単位：MW)

連系線	方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月	夜間・連系線作業時等
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート7,8参照						
	東北⇒北海道	シート7,8参照						
東北東京間 連系線	東北⇒東京	532	622	682	732	732	672	
	東京⇒東北	シート9参照						
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	660	700	700	640	
	中部⇒東京	600	620	680	720	720	660	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	700	700	700	700	700	700	夜間は0
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸							
	北陸⇒関西	50	50	60	60	60	60	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	260	280	310	330	330	290	
	関西⇒中部	300	300	330	350	350	320	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	230	250	280	300	300	270	
	中国⇒関西	260	270	300	330	330	290	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	700	700	700	700	700	700	10/15,16は0 3/4~8,11~15は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	

(注) 変更前の値は、現時点で、実需給断面においてエリアの予備力不足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値。



1. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2018年度下期）平日

<変更後> 下線部：追加・変更箇所

(単位：MW)

連系統	方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月	夜間・連系統作業等
北海道本州間 連系統設備	北海道⇒東北	シート7,8参照						
	東北⇒北海道	シート7,8参照						
東北東京間 連系統	東北⇒東京	12~462*1	12~462*1	12~462*1	12~392*1	12~392*1	12~392*1	
	東京⇒東北	シート9参照						
東京中部間 連系統設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	
中部北陸間 連系統設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0~590*2	0~590*2	0~590*2	0~590*2	0~590*2	0~590*2	夜間は0
北陸関西間 連系統	関西⇒北陸	0~590*2	0~590*2	0~590*2	0~590*2	0~590*2	0~590*2	夜間は0
	北陸⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中部関西間 連系統	中部⇒関西	0	0	0	0	0	0	
	関西⇒中部	0	0	0	0	0	0	
関西中国間 連系統	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系統設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系統	中国⇒四国	0~700*3	0~700*3	0~700*3	0~700*3	0~700*3	0~700*3	10/15,16は0 3/4~8,11~15は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系統	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	

(注) ・ 想定需要の見直し等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり
 ・ 範囲を記載しているマージンの値に関する補足は以下の通り、なお、系統情報サービス上は、蓋然性のある値の範囲の最小値を表示し、注記を付す等して対応する。
 ※1: 北海道風力実証分12MWに、実需給断面において設定する蓋然性のある値0~450MW（10~12月）、0~380MW（1~3月）を加えたもの
 ※2: 実需給断面において設定する蓋然性のある値0~590MW
 ※3: 実需給断面において設定する蓋然性のある値0~700MW

<変更前>

(単位：MW)

連系線	方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月	夜間・連系線停電時等
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート7,8参照						
	東北⇒北海道	シート7,8参照						
東北東京間 連系線	東北⇒東京	462	482	622	662	652	572	
	東京⇒東北	シート9参照						
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	620	600	600	
	中部⇒東京	600	600	610	650	640	600	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
	北陸⇒関西	40	50	50	60	60	50	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	220	240	270	290	290	250	
	関西⇒中部	250	260	290	300	290	250	3/24昼間は200
関西中国間 連系線	関西⇒中国	210	230	260	270	270	230	
	中国⇒関西	220	230	270	290	280	240	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	700	700	700	700	700	700	3/2,3,9,10は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	

(注) 変更前の値は、現時点で、実需給断面においてエリアの予備力不足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値。



1. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2018年度下期）休日

<変更後> 下線部：追加・変更箇所

(単位：MW)

連系線	方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月	夜間・連系線作業時等
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート7,8参照						
	東北⇒北海道	シート7,8参照						
東北東京間 連系線	東北⇒東京	<u>12~462</u> *1	<u>12~462</u> *1	<u>12~462</u> *1	<u>12~392</u> *1	<u>12~392</u> *1	<u>12~392</u> *1	
	東京⇒東北	シート9参照						
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	<u>600</u>	600	600	
	中部⇒東京	600	600	<u>600</u>	<u>600</u>	<u>600</u>	600	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
	北陸⇒関西	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	
	関西⇒中部	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	3/24風間は200
関西中国間 連系線	関西⇒中国	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	
	中国⇒関西	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	<u>0~700</u> *2	<u>0~700</u> *2	<u>0~700</u> *2	<u>0~700</u> *2	<u>0~700</u> *2	<u>0~700</u> *2	3/2,3,9,10は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	

(注) ・想定需要の見直し等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり
 ・範囲を記載しているマージンの値に関する補足は以下の通り、なお、系統情報サービス上は、蓋然性のある値の範囲の最小値を表示し、注記を付す等して対応する。
 ※1: 北海道風力実証分12MWに、実需給断面において設定する蓋然性のある値0~450MW（10~12月）、0~380MW（1~3月）を加えたもの
 ※2: 実需給断面において設定する蓋然性のある値0~700MW

1. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2018年度下期）〔北本連系設備〕

（注）変更前の値は、現時点で、実需給断面においてエリアの予備力不足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値。

<変更前> <平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯> (単位：MW)

連系線	方向	10月				11月				12月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	252	292	282	292	212	252	252	252	182	212	202	192
	東北⇒北海道	522	542	532	542	502	522	522	522	482	502	492	492
	方向	1月				2月				3月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
	北海道⇒東北	192	192	232	192	192	192	212	172	232	232	272	252
東北⇒北海道	462	462	512	492	482	472	502	482	512	512	532	522	

（注）・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり
 ・増強により運用容量が増加する北海道本州間連系設備（+30万kW：2019年3月運開予定）において、増強後のマージンについては扱いを検討中のため、上表の値にはこれを考慮していない。（運用開始までにマージンの必要量を検討。なお、広域機関システム上における年間計画の公表値は、扱いが決まるまではマージンに増強分の容量を加算）

<変更後> <平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯>  下線部：追加・変更箇所 (単位：MW)

連系線	方向	10月				11月				12月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	252	292	282	292	212	252	252	252	182	212	202	192
	東北⇒北海道	522	542	532	542	502	522	522	522	482	502	492	492
	方向	1月				2月				3月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
	北海道⇒東北	<u>132</u>	<u>142</u>	232	192	<u>162</u>	<u>162</u>	212	172	232	232	272	252
東北⇒北海道	462	462	512	492	482	472	502	482	512	512	532	522	

（注）・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり
 ・増強により運用容量が増加する北海道本州間連系設備（+30万kW：2019年3月運開予定）において、増強後のマージンについては扱いを検討中のため、上表の値にはこれを考慮していない。（運用開始までにマージンの必要量を検討。なお、広域機関システム上における年間計画の公表値は、扱いが決まるまではマージンに増強分の容量を加算）

1. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2018年度下期）〔北本連系設備〕

(注)変更前の値は、現時点で実需給断面においてエリアの予備力不足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値

【北本作業時等・変更前】 <平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯>

(単位：MW)

連系線	方向	10月（運用容量300MW時）				1月（運用容量300MW時）				備考	
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	(10月) 運用容量300MW 平P・N 11~12,17~ 19,22,24日 休P・N 20日 運用容量0MW 平日P・N 10日 休日P 13,21日	(1月) 休P 14日
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	142	142	102	102	—	—	182	—		
	東北⇒北海道	300	300	300	300	—	—	300	—		
	方向	3月（運用容量900MW時）								備考	
	平P	平N	休P	休N						(3月) 平P 29日 平N 29日 休P 30~31日 休N 30~31日	
	北海道⇒東北	232	232	272	252						
東北⇒北海道	512	512	532	522							

(注)・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

・増強により運用容量が増加する北海道本州間連系設備(+30万kW:2019年3月運開予定)において、増強後のマージンについては扱いを検討中のため、上表の値にはこれを考慮していない。(運用開始までにマージンの必要量を検討。なお、広域機関システム上における年間計画の公表値は、扱いが決まるまではマージンに増強分の容量を加算)



【北本作業時等・変更後】 <平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯>

下線部：追加・変更箇所

(単位：MW)

連系線	方向	10月（運用容量300MW時）				1月（運用容量300MW時）				備考	
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	(10月) 運用容量300MW 平P・N 11~12,17~ 19,22,24日 休P・N 20日 運用容量0MW 平日P・N 10日 休日P 13,21日	(1月) 休P 14日
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	—	—	<u>12</u>	—		
	東北⇒北海道	300	300	300	300	—	—	300	—		
	方向	3月（運用容量900MW時）								備考	
	平P	平N	休P	休N						(3月) 平P 29日 平N 29日 休P 30~31日 休N 30~31日	
	北海道⇒東北	232	232	272	252						
東北⇒北海道	512	512	532	522							

(注)・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

・増強により運用容量が増加する北海道本州間連系設備(+30万kW:2019年3月運開予定)において、増強後のマージンについては扱いを検討中のため、上表の値にはこれを考慮していない。(運用開始までにマージンの必要量を検討。なお、広域機関システム上における年間計画の公表値は、扱いが決まるまではマージンに増強分の容量を加算)

1. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2018年度下期）〔東北東京間連系線（東京⇒東北）〕9

（注）変更前の値は、現時点で実需給断面においてエリアの予備力足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値

〔2018年度下期〕

＜変更前＞

（単位：MW）

平休日	昼夜	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平日	昼間	322	362	392	412	412	392
	夜間	270	300	340	380	390	360 ^{※1}
休日	昼間	310	330	362	340	372	342
	夜間	270	290	362	360	372	342

※1:3/11～15は392（連系線作業による）

（注）・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり



＜変更後＞ 下線部：追加・変更箇所

（単位：MW）

平休日	昼夜	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平日	昼間	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>
	夜間	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>
休日	昼間	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>
	夜間	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>	<u>12</u>

※1:3/11～15は392（連系線作業による）

（注）・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり
 ・変更後のマージンは、区分B0(北海道風力実証試験用)マージンのみ

空白

2. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度上期）平日

<変更前>

(単位：MW)

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	夜間・連系線停電時等
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート19,20参照						
	東北⇒北海道	シート19,20参照						
東北東京間 連系線	東北⇒東京	592	532	642	822	822	712	
	東京⇒東北	シート22参照						
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	630	760	760	680	
	中部⇒東京	600	600	630	810	810	690	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	700	700	700	700	700	700	夜間は0
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	50	50	60	70	70	60	
	北陸⇒関西	270	260	290	360	360	320	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	280	290	310	380	380	330	6/1昼間は210
	関西⇒中部	230	230	250	320	320	270	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	260	260	280	350	350	320	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	700	700	700	700	700	450	4/6~5/27は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	

(注) 変更前の値は、現時点で、実需給断面においてエリアの予備力不足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値。



2. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度上期）平日

<変更後> 下線部：追加・変更箇所

(単位：MW)

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	夜間・連系線作業時等
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート19,20参照						
	東北⇒北海道	シート19,20参照						
東北東京間 連系線	東北⇒東京	12~392*1	22~402*1	22~402*1	22~352*1	22~352*1	22~402*1	
	東京⇒東北	シート22参照						
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0~590*2	0~590*2	0~590*2	0~590*2	0~590*2	0~590*2	夜間は0
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
	北陸⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	0	0	0	0	0	0	
	関西⇒中部	0	0	0	0	0	0	6/1風間は240
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	0~700*3	0~700*3	0~700*3	0~700*3	0~700*3	0~450*3	4/6~5/27は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	

- (注) ・ 想定需要の見直し等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり
 ・ 範囲を記載しているマージンの値に関する補足は以下の通り、なお、系統情報サービス上は、蓋然性のある値の範囲の最小値を表示し、注記を付す等して対応する。
- ※1: 北海道風力実証分12MW（4月）、22MW（5~9月）に、実需給断面において設定する蓋然性のある値0~380MW（4~6月、9月）、0~330MW（7,8月）を加えたもの
- ※2: 実需給断面において設定する蓋然性のある値0~590MW
- ※3: 実需給断面において設定する蓋然性のある値0~700MW（4~8月）、0~450MW（9月）

2. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度下期）平日

<変更前>

（単位：MW）

連系線	方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月	夜間・連系線作業時等
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート19,21参照						
	東北⇒北海道	シート19,21参照						
東北東京間 連系線	東北⇒東京	543	633	698	748	748	688	
	東京⇒東北	シート22参照						
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	660	700	700	640	12/2～6、3/23～25は0
	中部⇒東京	600	620	680	720	720	660	11/11～15、11/18～22、 11/25～29、12/2～6、3/23 ～25は0
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	700	700	700	700	700	700	10/24は0 夜間は0
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸							
	北陸⇒関西	50	50	60	60	60	60	10/24昼間は0
中部関西間 連系線	中部⇒関西	260	280	310	330	330	290	
	関西⇒中部	310	300	330	350	350	330	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	230	250	280	300	300	270	
	中国⇒関西	260	270	300	330	330	290	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	450	700	700	700	700	700	10/30、31は0 12/11昼間・12/12昼間は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	

（注）変更前の値は、現時点で、実需給断面においてエリアの予備力不足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値。



2. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度下期）平日

<変更後> 下線部：追加・変更箇所 (単位：MW)

連系線	方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月	夜間・連系線作業時等
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート19,21参照						
	東北⇒北海道	シート19,21参照						
東北東京間 連系線	東北⇒東京	<u>23~473</u> *1	<u>23~403</u> *1	<u>28~408</u> *1	<u>28~408</u> *1	<u>28~408</u> *1	<u>28~408</u> *1	
	東京⇒東北	シート22参照						
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	122~6 323~25360
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	11/11~15 11/18~22 11/25~29 12/2~6 3/23 ~25360
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	<u>0~590</u> *2	<u>0~590</u> *2	<u>0~590</u> *2	<u>0~590</u> *2	<u>0~590</u> *2	<u>0~590</u> *2	10/24は0 夜間は0
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
	北陸⇒関西	0	0	0	0	0	0	10/24は0
中部関西間 連系線	中部⇒関西	0	0	0	0	0	0	
	関西⇒中部	0	0	0	0	0	0	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	<u>0~450</u> *3	<u>0~700</u> *3	<u>0~700</u> *3	<u>0~700</u> *3	<u>0~700</u> *3	<u>0~700</u> *3	10/30 31は0 12/11は0 12/12は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	

(注) ・想定需要の見直し等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり
 ・範囲を記載しているマージンの値に関する補足は以下の通り、なお、系統情報サービス上は、蓋然性のある値の範囲の最小値を表示し、注記を付す等して対応する。

※1: 北海道風力実証分23MW（10,11月）,28MW（12~3月）に、実需給断面において設定する蓋然性のある値0~450MW（10月）,0~380MW（11~3月）を加えたもの

※2: 実需給断面において設定する蓋然性のある値0~590MW

※3: 実需給断面において設定する蓋然性のある値0~450MW（10月）,0~700MW（11~3月）

2. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度上期）休日

<変更前>

(単位：MW)

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	夜間・連系線停線時等
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート19,20参照						
	東北⇒北海道	シート19,20参照						
東北東京間 連系線	東北⇒東京	472	472	472	712	712	602	
	東京⇒東北	シート22参照						
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	620	600	
	中部⇒東京	600	600	600	690	690	600	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
	北陸⇒関西	50	50	50	60	60	50	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	230	220	240	290	300	270	
	関西⇒中部	210	220	240	280	290	280	6/2昼間は160
関西中国間 連系線	関西⇒中国	210	200	220	270	270	230	
	中国⇒関西	230	220	230	290	300	260	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	700	700	700	700	700	450	4/6~5/27は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	

(注) 変更前の値は、現時点で、実需給断面においてエリアの予備力不足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値。



2. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度上期）休日

<変更後> 下線部：追加・変更箇所

(単位：MW)

連系線	方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	夜間・連系線作業時等
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート19,20参照						
	東北⇒北海道	シート19,20参照						
東北東京間 連系線	東北⇒東京	12~392*1	22~402*1	22~402*1	22~352*1	22~352*1	22~402*1	
	東京⇒東北	シート22参照						
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
	北陸⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	0	0	0	0	0	0	
	関西⇒中部	0	0	0	0	0	0	6/1昼間は160
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	0~700*2	0~700*2	0~700*2	0~700*2	0~700*2	0~450*2	4/6~5/27は0
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	

(注) ・ 想定需要の見直し等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

・ 範囲を記載しているマージンの値に関する補足は以下の通り、なお、系統情報サービス上は、蓋然性のある値の範囲の最小値を表示し、注記を付す等して対応する。

※1: 北海道風力実証分12MW(4月),22MW(5~9月)に、実需給断面において設定する蓋然性のある値0~380MW(4~6月,9月),0~330MW(7,8月)を加えたもの

※2: 実需給断面において設定する蓋然性のある値0~700MW(4~8月),0~450MW(9月)

2. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度下期）休日

<変更前>

(単位：MW)

連系線	方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月	夜間・連系線停電時等
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート19,21参照						
	東北⇒北海道	シート19,21参照						
東北東京間 連系線	東北⇒東京	473	493	638	668	668	588	
	東京⇒東北	シート22参照						
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	620	600	600	
	中部⇒東京	600	600	610	650	640	600	12/1,7は600
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
	北陸⇒関西	40	50	50	60	60	50	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	220	240	270	290	290	250	
	関西⇒中部	250	270	290	300	290	250	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	210	230	260	270	270	230	
	中国⇒関西	220	230	270	290	280	240	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	450	700	700	700	700	700	
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	

(注) 変更前の値は、現時点で、実需給断面においてエリアの予備力不足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値。



2. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度下期）休日

<変更後> 下線部：追加・変更箇所

(単位：MW)

連系線	方向	10月	11月	12月	1月	2月	3月	夜間・連系線作業時等
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	シート19,21参照						
	東北⇒北海道	シート19,21参照						
東北東京間 連系線	東北⇒東京	23~473*1	23~403*1	28~408*1	28~408*1	28~408*1	28~408*1	
	東京⇒東北	シート22参照						
東京中部間 連系設備	東京⇒中部	600	600	600	600	600	600	
	中部⇒東京	600	600	600	600	600	600	12/1,7は600
中部北陸間 連系設備	北陸⇒中部	0	0	0	0	0	0	
	中部⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
北陸関西間 連系線	関西⇒北陸	0	0	0	0	0	0	
	北陸⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中部関西間 連系線	中部⇒関西	0	0	0	0	0	0	
	関西⇒中部	0	0	0	0	0	0	
関西中国間 連系線	関西⇒中国	0	0	0	0	0	0	
	中国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
関西四国間 連系設備	関西⇒四国	0	0	0	0	0	0	
	四国⇒関西	0	0	0	0	0	0	
中国四国間 連系線	中国⇒四国	0~450*2	0~700*2	0~700*2	0~700*2	0~700*2	0~700*2	
	四国⇒中国	0	0	0	0	0	0	
中国九州間 連系線	中国⇒九州	0	0	0	0	0	0	
	九州⇒中国	0	0	0	0	0	0	

(注) ・想定需要の見直し等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

・範囲を記載しているマージンの値に関する補足は以下の通り、なお、系統情報サービス上は、蓋然性のある値の範囲の最小値を表示し、注記を付す等して対応する。

※1: 北海道風力実証分23MW（10,11月）,28MW（12~3月）に、実需給断面において設定する蓋然性のある値0~450MW（10月）,0~380MW（11~3月）を加えたもの

※2: 実需給断面において設定する蓋然性のある値0~450MW（10月）,0~700MW（11~3月）

2. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度）〔北本連系設備〕

(注)変更前の値は、現時点で実需給断面においてエリアの予備力不足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値

<変更前> <平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯> (単位：MW)

連系線	方向	4月				5月				6月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	242	262	282	282	292	312	312	312	522	522	472	472
	東北⇒北海道	512	522	532	532	542	552	552	552	532	552	552	552
	方向	7月				8月				9月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
	北海道⇒東北	522	522	522	522	522	522	522	522	522	522	522	522
	東北⇒北海道	452	472	472	472	442	472	462	472	452	472	472	472
	方向	10月				11月				12月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
	北海道⇒東北	263	303	293	303	213	253	263	263	198	218	218	198
	東北⇒北海道	453	473	463	473	533	543	553	553	518	538	528	528
	方向	1月				2月				3月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
	北海道⇒東北	208	208	238	198	208	208	228	188	248	248	288	268
	東北⇒北海道	498	498	538	528	518	508	538	518	548	548	568	558

<変更後> <平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯> 下線部：追加・変更箇所 (単位：MW)

連系線	方向	4月				5月				6月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	242	262	282	282	292	312	312	312	<u>272</u>	<u>312</u>	<u>312</u>	<u>312</u>
	東北⇒北海道	512	522	532	532	542	552	552	552	532	552	552	552
	方向	7月				8月				9月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
	北海道⇒東北	<u>262</u>	<u>312</u>	<u>302</u>	<u>312</u>	<u>252</u>	<u>312</u>	<u>292</u>	<u>312</u>	<u>262</u>	<u>312</u>	<u>302</u>	<u>312</u>
	東北⇒北海道	452	472	472	472	442	472	462	472	452	472	472	472
	方向	10月				11月				12月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
	北海道⇒東北	263	303	293	303	213	253	263	263	198	218	218	198
	東北⇒北海道	453	473	463	473	533	543	553	553	518	538	528	528
	方向	1月				2月				3月			
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	
	北海道⇒東北	<u>148</u>	<u>148</u>	238	198	<u>178</u>	<u>178</u>	228	188	248	248	288	268
	東北⇒北海道	498	498	538	528	518	508	538	518	548	548	568	558

<北本作業時等は次頁,次々頁>

(注)変更前の値は、現時点で実需給断面においてエリアの予備力不足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値

【北本作業時等・変更前】 <平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯>

(単位：MW)

連系線	方向	5月（運用容量600MW時）				5月（運用容量300MW時）				備考	
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	(5月運用容量600MW) 平P・N 14~17,20~22,28~31日 休P・N 18,19日	(5月運用容量300MW) 平P・N 23,24,27日 休P・N 25,26日
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	292	312	312	312	152	152	112	112		
	東北⇒北海道	542	552	552	552	300	300	300	300		
	方向	6月（運用容量600MW時）				7月（運用容量600MW時）				備考	
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	(6月運用容量600MW) 平P・N 3~7,10~12日 休P・N 1~2,8~9日	(7月運用容量600MW) 平P・N 16~19,22~26,29~31日 休P 14~15,20~21,27~28日 休N 13~15,20~21,27~28日	
	北海道⇒東北	522	522	472	472	522	522	522	522		
	東北⇒北海道	532	552	552	552	452	472	472	472		
	方向	7月（運用容量300MW時）				8月（運用容量600MW時）				備考	
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	(7月運用容量300MW) 休P 13日	(8月運用容量600MW) 平P・N 1~2,5~9日 休P 3~4,10日 休N 3~4,10~11日	
	北海道⇒東北	—	—	300	—	522	522	522	522		
	東北⇒北海道	—	—	300	—	442	472	462	472		
	方向	8月（運用容量300MW時）								備考	
	平P	平N	休P	休N					(8月運用容量300MW) 休P 11日		
北海道⇒東北	—	300	—	—							
東北⇒北海道	—	300	—	—							

【北本作業時等・変更後】 <平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯>

下線部：追加・変更箇所

(単位：MW)

連系線	方向	5月（運用容量600MW時）				5月（運用容量300MW時）				備考	
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	(5月運用容量600MW) 平P・N 14~17,20~22,28~31日 休P・N 18,19日	(5月運用容量300MW) 平P・N 23,24,27日 休P・N 25,26日
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	<u>22</u>	<u>22</u>	<u>22</u>	<u>22</u>	22	22	22	22		
	東北⇒北海道	542	552	552	552	300	300	300	300		
	方向	6月（運用容量600MW時）				7月（運用容量600MW時）				備考	
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	(6月運用容量600MW) 平P・N 3~7,10~12日 休P・N 1~2,8~9日	(7月運用容量600MW) 平P・N 16~19,22~26,29~31日 休P 14~15,20~21,27~28日 休N 13~15,20~21,27~28日	
	北海道⇒東北	<u>22</u>	<u>22</u>	<u>22</u>	<u>22</u>	22	22	22	22		
	東北⇒北海道	532	552	552	552	452	472	472	472		
	方向	7月（運用容量300MW時）				8月（運用容量600MW時）				備考	
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	(7月運用容量300MW) 休P 13日	(8月運用容量600MW) 平P・N 1~2,5~9日 休P 3~4,10日 休N 3~4,10~11日	
	北海道⇒東北	—	—	<u>22</u>	—	22	22	22	22		
	東北⇒北海道	—	—	300	—	442	472	462	472		
	方向	8月（運用容量300MW時）								備考	
	平P	平N	休P	休N					(8月運用容量300MW) 休P 11日		
北海道⇒東北	—	<u>22</u>	—	—							
東北⇒北海道	—	300	—	—							

(注)・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

・増強により運用容量が増加する北海道本州間連系設備(+30万kW:2019年3月運開予定)において、増強後のマージンについては扱いを検討中のため、上表の値にはこれを考慮していない。(運用開始までにマージンの必要量を検討。なお、広域機関システム上における年間計画の公表値は、扱いが決まるまではマージンに増強分の容量を加算)

2. 予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン（2019年度下期）〔北本連系設備〕

(注)変更前の値は、現時点で実需給断面においてエリアの予備力不足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値

【北本作業時等・変更前】 <平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯>

(単位：MW)

連系線	方向	10月（運用容量600MW時）								備考	
		平P	平N	休P	休N						
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	263	303	293	303					(10月運用容量600MW) 平P 2~4,7~11,28~29日 平N 2~4,28~30日 休P・N 5~6,26~27日	
	東北⇒北海道	453	473	463	473						
	方向	10月（運用容量300MW時）				1月（運用容量600MW時）				備考	
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N			
	北海道⇒東北	153	153	—	—	208	208	238	198	(10月運用容量300MW) 平P 1,4,30日 平N 1日	(1月運用容量600MW) 平P・N 16~17,20~24,27~31日 休P・N 18~19,25~26日
	東北⇒北海道	300	300	—	—	498	498	538	528		
	方向	2月（運用容量600MW時）				3月（運用容量600MW時）				備考	
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N			
	北海道⇒東北	208	208	228	188	248	248	288	268	(2月運用容量600MW) 平P・N 3~7,10,12~14,17~21,24~28日 休P・N 1~2,8~9,11,15~16,22~23,29日	(3月運用容量600MW) 平P・N 2~6,9~13,16~19,23~27,30日 休P・N 1,7~8,14~15,20~22,28~29日
	東北⇒北海道	518	508	538	518	548	548	568	558		
	方向	3月（運用容量300MW時）								備考	
	平P	平N	休P	休N							
北海道⇒東北	198	198	—	—					(3月運用容量300MW) 平P 31日 平N 31日		
東北⇒北海道	300	300	—	—							

【北本作業時等・変更後】 <平：平日、休：休日、P：昼間帯、N：夜間帯>

下線部：追加・変更箇所

(単位：MW)

連系線	方向	10月（運用容量600MW時）				10月（運用容量600MW時）				備考	
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N		
北海道本州間 連系設備	北海道⇒東北	23	23	23	23	263	303	293	303	(10月運用容量600MW) 平P 2~3,7~11,28~29日 平N 2~4,28~30日 休P・N 5~6,26~27日 ※北本300MW、新北本300MW	(10月運用容量600MW) 平P・N 7~11日 休P・N 5~6日 ※北本600MW、新北本0MW
	東北⇒北海道	453	473	463	473	453	473	463	473		
	方向	10月（運用容量300MW時）				1月（運用容量600MW時）				備考	
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N			
	北海道⇒東北	23	23	—	—	28	28	28	28	(10月運用容量300MW) 平P 1,4,30日 平N 1日	(1月運用容量600MW) 平P・N 16~17,20~24,27~31日 休P・N 18~19,25~26日
	東北⇒北海道	300	300	—	—	498	498	538	528		
	方向	2月（運用容量600MW時）				3月（運用容量600MW時）				備考	
	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N			
	北海道⇒東北	28	28	28	28	28	28	28	28	(2月運用容量600MW) 平P・N 3~7,10,12~14,17~21,24~28日 休P・N 1~2,8~9,11,15~16,22~23,29日	(3月運用容量600MW) 平P・N 2~6,9~13,16~19,23~27,30日 休P・N 1,7~8,14~15,20~22,28~29日
	東北⇒北海道	518	508	538	518	548	548	568	558		
	方向	3月（運用容量300MW時）								備考	
	平P	平N	休P	休N							
北海道⇒東北	28	28	—	—					(3月運用容量300MW) 平P 31日 平N 31日		
東北⇒北海道	300	300	—	—							

(注)・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の連開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり
・増強により運用容量が増加する北海道本州間連系設備(+30万kW:2019年3月連開予定)において、増強後のマージンについては扱いを検討中のため、上表の値にはこれを考慮していない。(運用開始までにマージンの必要量を検討。なお、広域機関システム上における年間計画の公表値は、扱いが決まるまではマージンに増強分の容量を加算)

※1 「2018~2027年度の予備力・調整力及び潮流抑制のためのマージン(年間計画)」(2018/3/1公表)の誤記を今回修正
(系統情報サービスで2018/3/1に公表済みのマージンの作業時等の値は正值)

（注）変更前の値は、現時点で実需給断面においてエリアの予備力足等によりマージンが必要となった場合に設定する可能性のある最大値

〔2019年度〕

＜変更前＞

（単位：MW）

平休日	昼夜	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平日	昼間	322	312	332	380	320	362	333	373	408	428	428	390
	夜間	280	250	260 ^{※1}	280	240	280	270	300	340	380	400	340
休日	昼間	300	260	300 ^{※2}	330	300	330	310	330	370	340	388	340
	夜間	280	230	260 ^{※2}	280	230	280	270	290	380	360	388	340

※1:6/10～14は332（連系線作業による）、※2:6/8、9は302（連系線作業による）

（注）・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり



＜変更後＞

（単位：MW）

平休日	昼夜	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平日	昼間	12	22	22	22	22	22	23	23	28	28	28	28
	夜間	12	22	22	22	22	22	23	23	28	28	28	28
休日	昼間	12	22	22	22	22	22	23	23	28	28	28	28
	夜間	12	22	22	22	22	22	23	23	28	28	28	28

（注）・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

・変更後のマージンは、区分B0(北海道風力実証試験用)マージンのみ

<平: 平日、休: 休日、P: 昼間帯、N: 夜間帯>

下線部: 追加・変更箇所

(単位: MW)

方向	区分	10月				11月				12月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	240	280	270	280	200	240	240	240	170	200	190	180
	A1	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
	B0	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		<u>252</u>	<u>292</u>	<u>282</u>	<u>292</u>	<u>212</u>	<u>252</u>	<u>252</u>	<u>252</u>	<u>182</u>	<u>212</u>	<u>202</u>	<u>192</u>
東北⇒北海道	B1	510	530	520	530	490	510	510	510	470	490	480	480
	C1	430	450	440	450	410	430	430	430	390	410	400	400
	B0	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		<u>522</u>	<u>542</u>	<u>532</u>	<u>542</u>	<u>502</u>	<u>522</u>	<u>522</u>	<u>522</u>	<u>482</u>	<u>502</u>	<u>492</u>	<u>492</u>
方向	区分	1月				2月				3月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	120	130	220	180	150	150	200	160	220	220	260	240
	A1	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
	B0	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		<u>132</u>	<u>142</u>	<u>182</u>	<u>182</u>	<u>162</u>	<u>162</u>	<u>212</u>	<u>172</u>	<u>232</u>	<u>232</u>	<u>272</u>	<u>252</u>
東北⇒北海道	B1	450	450	500	480	470	460	490	470	500	500	520	510
	C1	370	370	420	400	390	380	410	390	420	420	440	430
	B0	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		<u>462</u>	<u>462</u>	<u>512</u>	<u>492</u>	<u>482</u>	<u>472</u>	<u>502</u>	<u>482</u>	<u>512</u>	<u>512</u>	<u>532</u>	<u>522</u>

- (説明)
- 区分についてはシート29、30を参照
 - 北海道⇒東北向きについては区分C1とA1のうち大きい値、東北⇒北海道向きについては区分B1とC1のうち大きい値に、区分B0の値を加えた値をマージンの値とする
 - 想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

<平: 平日、休: 休日、P: 昼間帯、N: 夜間帯>

下線部: 追加・変更箇所

(単位: MW)

方向	区分	4月				5月				6月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	230	250	270	270	270	290	290	290	250	290	290	290
	A1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B0	12	12	12	12	22	22	22	22	22	22	22	22
		242	262	282	282	292	312	312	312	272	312	312	312
東北⇒北海道	B1	500	510	520	520	520	530	530	530	510	530	530	530
	C1	420	430	440	440	440	450	450	450	430	450	450	450
	B0	12	12	12	12	22	22	22	22	22	22	22	22
		512	522	532	532	542	552	552	552	532	552	552	552
方向	区分	7月				8月				9月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	240	290	280	290	230	290	270	290	240	290	280	290
	A1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B0	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
		262	312	302	312	252	312	292	312	262	312	302	312
東北⇒北海道	B1	430	450	450	450	420	450	440	450	430	450	450	450
	C1	430	450	450	450	420	450	440	450	430	450	450	450
	B0	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
		452	472	472	472	442	472	462	472	452	472	472	472

(説明) ・区分についてはシート29、30を参照
 ・北海道⇒東北向きについては区分C1とA1のうち大きい値、東北⇒北海道向きについては区分B1とC1のうち大きい値に、区分B0の値を加えた値をマージンの値とする
 ・想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

<平: 平日、休: 休日、P: 昼間帯、N: 夜間帯>

下線部: 追加・変更箇所

(単位: MW)

方向	区分	10月				11月				12月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	240	280	270	280	190	230	240	240	170	190	190	170
	A1	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
	B0	23	23	23	23	23	23	23	23	28	28	28	28
		<u>263</u>	<u>303</u>	<u>293</u>	<u>303</u>	<u>213</u>	<u>253</u>	<u>263</u>	<u>263</u>	<u>198</u>	<u>218</u>	<u>218</u>	<u>198</u>
東北⇒北海道	B1	430	450	440	450	510	520	530	530	490	510	500	500
	C1	430	450	440	450	410	420	430	430	390	410	400	400
	B0	23	23	23	23	23	23	23	23	28	28	28	28
		<u>453</u>	<u>473</u>	<u>463</u>	<u>473</u>	<u>533</u>	<u>543</u>	<u>553</u>	<u>553</u>	<u>518</u>	<u>538</u>	<u>528</u>	<u>528</u>
方向	区分	1月				2月				3月			
		平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N	平P	平N	休P	休N
北海道⇒東北	C1	120	120	210	170	150	150	200	160	220	220	260	240
	A1	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
	B0	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
		<u>148</u>	<u>148</u>	<u>238</u>	<u>198</u>	<u>178</u>	<u>178</u>	<u>228</u>	<u>188</u>	<u>248</u>	<u>248</u>	<u>288</u>	<u>268</u>
東北⇒北海道	B1	470	470	510	500	490	480	510	490	520	520	540	530
	C1	370	370	410	400	390	380	410	390	420	420	440	430
	B0	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
		<u>498</u>	<u>498</u>	<u>538</u>	<u>528</u>	<u>518</u>	<u>508</u>	<u>538</u>	<u>518</u>	<u>548</u>	<u>548</u>	<u>568</u>	<u>558</u>

- (説明)
- 区分についてはシート29、30を参照
 - 北海道⇒東北向きについては区分C1とA1のうち大きい値、東北⇒北海道向きについては区分B1とC1のうち大きい値に、区分B0の値を加えた値をマージンの値とする
 - 想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

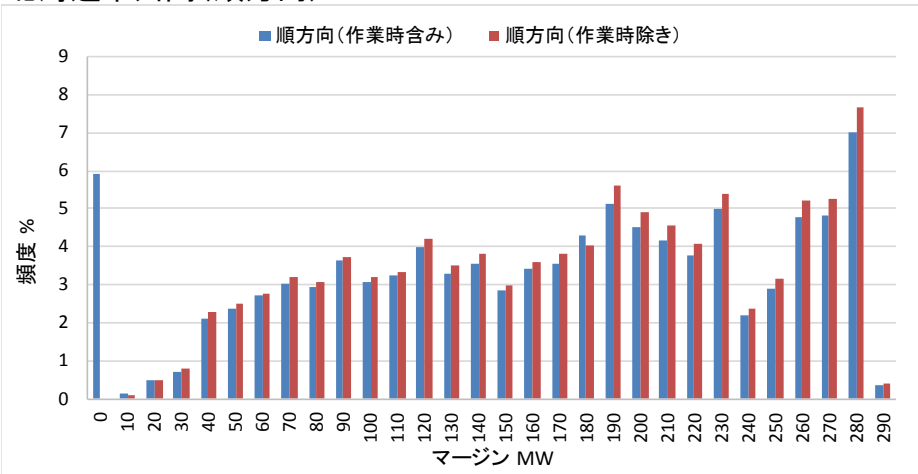
【集計内容】

➤ 2017年4月1日～2018年3月31日 (48コマ (30分コマ) × 365日)

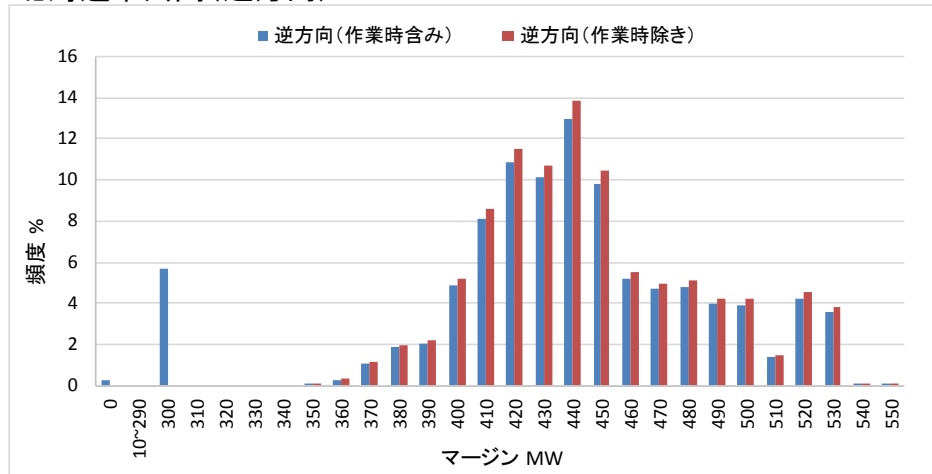
➤ 当日断面における最終値

連系線名	方向	作業	平均 (MW)	最小 (MW)	最大 (MW)	最頻値(MW) 【最もデータ数が多い値】 括弧内は最頻値発生率	最頻度数 (個)	母数 (個)
北海道本州間※	順方向	作業時含み	162	0	290	280 (7.0%)	1,231	17,520
		作業時除き	173	0	290	280 (7.7%)	1,231	16,069
	逆方向	作業時含み	438	0	550	440 (13.0%)	2,277	17,520
		作業時除き	447	350	550	440 (13.8%)	2,277	16,449
東北東京間※	順方向	作業時含み	61	0	450	0 (57.2%)	10,016	17,520
		作業時除き	61	0	450	0 (55.2%)	8,451	15,301
	逆方向	作業時含み	2	0	8	0 (80.8%)	14,150	17,520
		作業時除き	2	0	8	0 (80.8%)	14,150	17,520
東京中部間	順方向	作業時含み	599	300	600	600 (99.6%)	17,456	17,520
		作業時除き	600	600	600	600 (100.0%)	8,847	8,847
	逆方向	作業時含み	596	0	600	600 (99.1%)	17,366	17,520
		作業時除き	596	0	600	600 (99.2%)	8,778	8,847
中部関西間	順方向	作業時含み	0	0	0	0 (100.0%)	17,520	17,520
	逆方向	作業時含み	0	0	0	0 (100.0%)	17,520	17,520
北陸フェンス	順方向	作業時含み	83	0	590	0 (73.0%)	12,788	17,520
		作業時除き	101	0	590	0 (67.1%)	9,659	14,391
北陸関西間	順方向	作業時含み	0	0	0	0 (100.0%)	17,520	17,520
関西中国間	順方向	作業時含み	0	0	0	0 (100.0%)	17,520	17,520
	逆方向	作業時含み	0	0	0	0 (100.0%)	17,520	17,520
中国四国間	順方向	作業時含み	176	0	930	0 (36.7%)	6,435	17,520
		作業時除き	196	0	930	0 (29.7%)	4,673	15,758

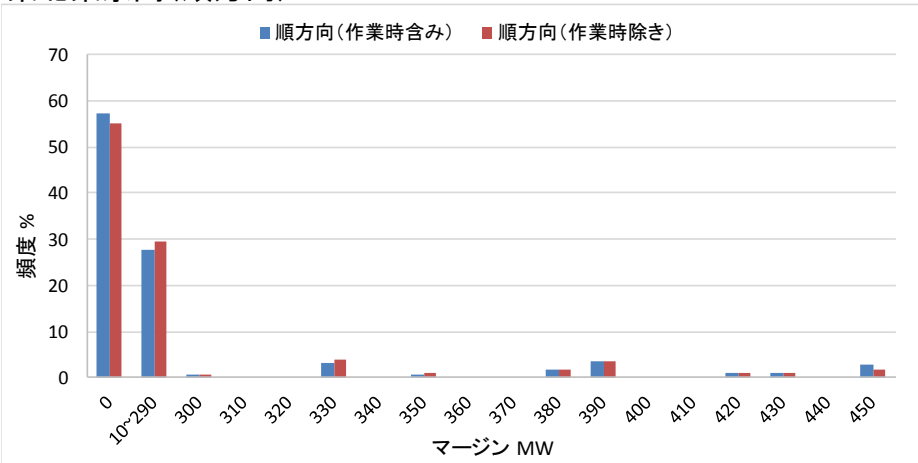
北海道本州間(順方向)



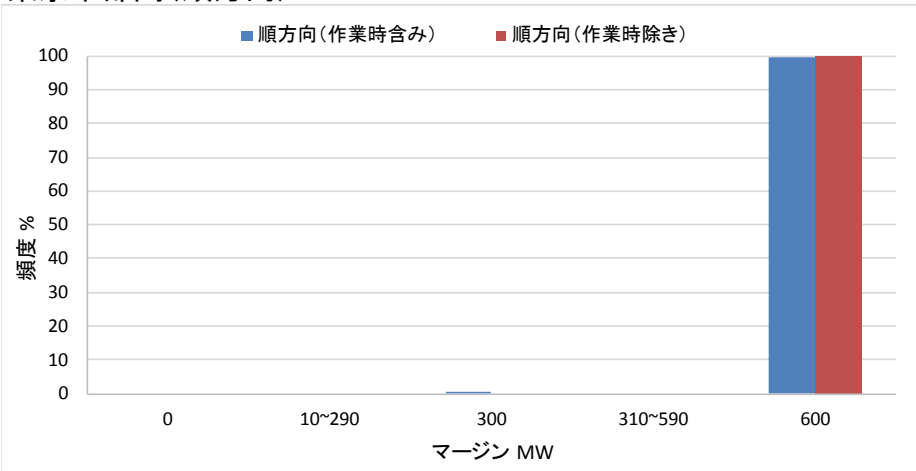
北海道本州間(逆方向)



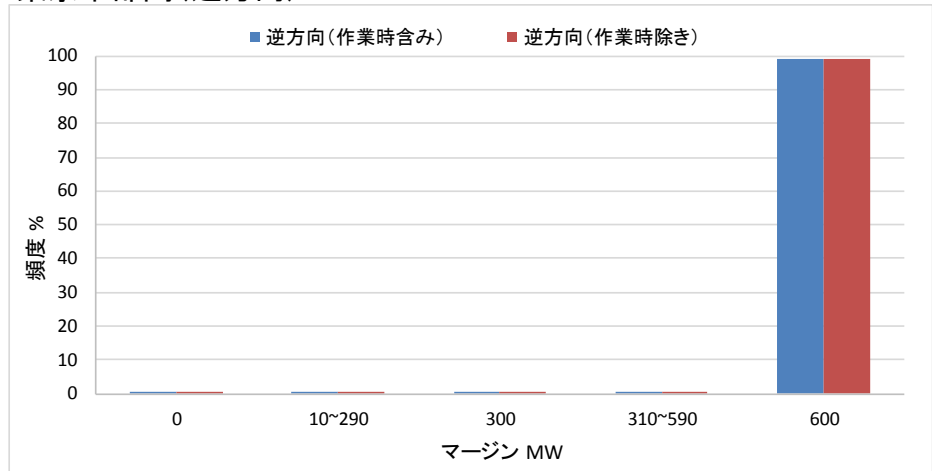
東北東京間(順方向)



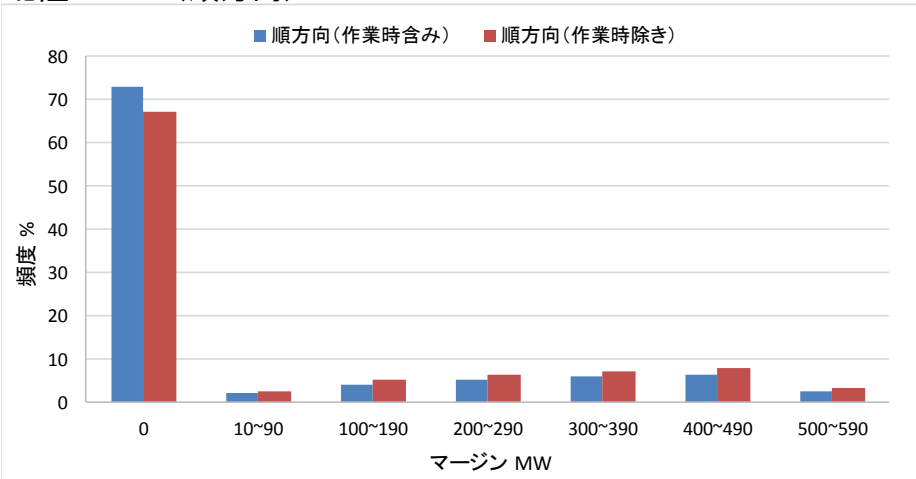
東京中部間(順方向)



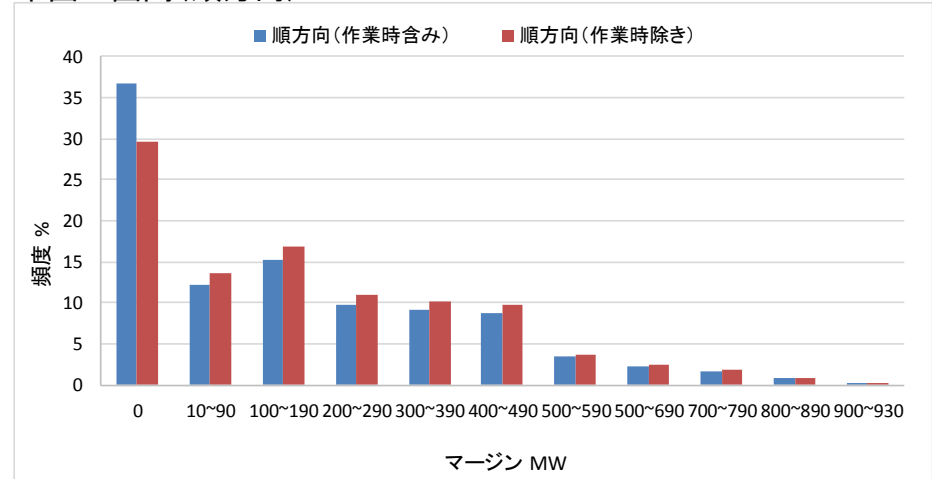
東京中部間(逆方向)



北陸フェンス(順方向)



中国四国間(順方向)



【予備力・調整力に関連したマージン】

内は当該区分に該当する現状のマージン

マージンの目的 マージンの分類	通常考慮すべきリスクへの対応			稀頻度リスクへの対応
	(参考) エリアが確保する調整力分※1	左記のうち、 エリア外調達分	エリア外 期待分	エリア外 期待分
「需給バランスに対応したマージン」 需給バランスの確保を目的として、連系統を介して他エリアから電気を受給するために設定するマージン	電源 I	A0	A1 旧① 旧②	A2 旧⑤
		(該当なし)	・最大電源ユニット相当 ・系統容量3%相当※2	・系統容量3%相当※3
「周波数制御に対応したマージン」 電力系統の異常時に電力系統の周波数を安定に保つために設定するマージン ※周波数制御(電源脱落対応を除く)のためにマージンを設定する場合は、「異常時」の表現の見直しが必要。	電源 I-a	B0	B1 旧③	B2 旧③
		・北海道風力実証試験	・東京中部間連系設備 (EPPS:逆方向) ・北海道本州間連系設備 (緊急時AFC:逆方向)	・東京中部間連系設備 (EPPS:順方向) ・北海道本州間連系設備 (緊急時AFC:順方向)

※1: 表中には記載を省略しているが、電源Ⅱの余力も含む。

※2: 従来区分①の系統容量3%相当マージンについては、長期計画断面では区分Dのマージンのほうが大きいため必要性を検討する必要性が無くなっている。一方、現在、前々日時点でエリア予備力不足時にはマージンを確保していることから、ここに記載している。

※3: ESCJの整理において、系統容量3%相当マージンに従来区分⑤(稀頻度リスク対応)に該当する観点が含まれることから記載

【連系線潮流抑制による安定維持のためのマージン】

マージンの目的 マージンの分類	通常考慮すべき リスクへの対応	稀頻度 リスクへの対応
「連系線潮流抑制のためのマージン」 電力システムの異常時に電力システムを安定に保つことを目的として、当該連系線の潮流を予め抑制するために設定するマージン	C1 旧④	C2 旧④
	・北海道本州間連系設備 (潮流抑制)	・東北東京間連系線 (潮流抑制)

【電力市場取引環境整備のマージン】

マージンの目的 マージンの分類	電力市場取引 環境整備
「電力市場取引環境整備のマージン」 先着優先による連系線利用の登録によって競争上の不公平性が発生することを防止するために設定するマージン	D
	(該当なし)